

**2023年3月期（第123期）
（2022年4月1日～2023年3月31日）**

芦森グループ決算説明資料

**連結業績は、売上高 65,624百万円、
営業利益 2,152百万円、経常利益 2,796百万円、
親会社株主に帰属する当期純利益 1,017百万円となりました。**

2023年5月12日

芦森工業株式会社

証券コード：3526

2023年3月期業績は 前期比で増収増益

	2022年3月期	2023年3月期	前期比	
	実績	実績	百万円	%
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	53,514	65,624	12,109	22.6
営業利益	536	2,152	1,616	301.6
（営業利益率）	1.0%	3.3%	-	-
経常利益	671	2,796	2,124	316.4
特別損益	35	▲ 685	▲ 721	-
税金等調整前 当期純利益	707	2,110	1,403	198.4
親会社株主に 帰属する 当期純利益	510	1,017	507	99.4

・自動車安全部品事業は生産の回復と円安効果により業績が大幅に改善、パルテム関連も通年で順調に推移、防災関連と産業資材関連は苦戦しましたが、前期比大幅増収となりました。

・増収に伴い営業利益は前期比大幅増益、為替差益等により、経常利益は過去最高となりました。メキシコ子会社における固定資産の減損と繰延税金資産の取崩し等を計上しましたが、親会社株主に帰属する当期純利益も改善しました。

		2022年3月期	2023年3月期	前期比	
		実績	実績	百万円	%
		百万円	百万円	百万円	%
自動車安全部品事業	売上高	35,718	46,666	10,948	30.7
	営業利益	▲ 1,273	583	1,857	-
	(営業利益率)	▲ 3.6%	1.3%	-	-
機能製品事業	売上高	17,764	18,926	1,161	6.5
	営業利益	2,268	2,207	▲ 61	▲ 2.7
	(営業利益率)	12.8%	11.7%	-	-
不動産収入、本社経費他	売上高	32	31	▲ 1	-
	営業利益	▲ 458	▲ 638	▲ 179	-
合 計	売上高	53,514	65,624	12,109	22.6
	営業利益	536	2,152	1,616	301.6
	(営業利益率)	1.0%	3.3%	-	-

自動車安全部品事業
中国ロックダウンや半導体不足の影響により、自動車生産台数への影響がありました。その後の受注回復と円安効果により、売上高は前期比増収となりました。損益面は、原材料価格の高騰、物流費の増加の影響がありましたが、前期比大幅な改善となりました。

機能製品事業
【パルテム関連】ライフライン（下水道・上水道・ガス等）の管路更生分野で前期からの繰越工事が順調に進捗したこともあり、売上・利益ともに大幅に増加しました。
【防災関連】防災関連資機材は順調に推移したものの、消火栓用ホース、災害対策用排水ホースは想定を下回り、売上は前期比ほぼ横這い、利益については減少しました。
【産業資材関連】物流省力化分野がトラックの大幅減産の影響を受け低迷し、売上・利益ともに減少しました。

(単位：百万円)	2022年3月 期末	2023年3月 期末	前期末比
流動資産	30,062	32,552	2,489
固定資産	20,221	19,000	▲ 1,220
資産合計	50,283	51,552	1,268
有利子負債	16,557	14,299	▲ 2,258
その他負債	16,463	18,801	2,338
負債合計	33,020	33,100	80
資本金	8,388	8,388	-
資本剰余金	1,632	1,632	-
利益剰余金	7,120	7,985	865
自己株式	▲ 151	▲ 148	3
その他の包括利益累計額	235	556	321
新株予約権	21	20	▲ 1
非支配株主持分	17	17	0
純資産の部合計	17,263	18,452	1,188
負債及び純資産の部合計	50,283	51,552	1,268
自己資本比率	34.3%	35.7%	1.5%

※

※

※メキシコ子会社での減損等により固定資産が減少、有利子負債の圧縮を進めています。

(単位：百万円)	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,021	6,267	7,289
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 4,190	▲ 1,463	2,727
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,738	▲ 2,700	▲ 4,438
現金及び現金同等物に係る換算差額	80	116	35
現金及び現金同等物の増減額	▲ 3,392	2,220	5,613
現金及び現金同等物の期末残高	2,181	4,402	2,220

(単位：百万円)	2019/3 期	2020/3 期	2021/3 期	2022/3 期	2023/3 期
設備投資額	4,375	2,817	1,545	4,762	1,517
減価償却費	1,906	2,209	2,057	1,842	1,885

「営業活動によるキャッシュ・フロー」☞ 増益と運転資金の減少により、前期比で大幅に改善しました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」☞ 本社・大阪工場での土地取得のあった前期比で改善しました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」☞ 借入金の圧縮を進める一方、海外子会社での流動性を確保しました。

		2023年3月期	2024年3月期	前期比	
		実績	予想	百万円	%
		百万円	百万円	百万円	%
自動車安全部品事業	売上高	46,666	44,600	▲ 2,066	▲ 4.4
	営業利益	583	1,200	616	-
	(営業利益率)	1.3%	2.7%	-	-
機能製品事業	売上高	18,926	20,300	1,373	7.3
	営業利益	2,207	2,100	▲ 107	▲ 4.9
	(営業利益率)	11.7%	10.3%	-	-
不動産収入、本社経費他	売上高	31	100	68	-
	営業利益	▲ 638	▲ 1,000	▲ 361	-
合 計	売上高	65,624	65,000	▲ 624	▲ 1.0
	営業利益	2,152	2,300	147	6.8
	(営業利益率)	3.3%	3.5%	-	-
	経常利益	2,796	2,200	▲ 596	▲ 21.3
	特別損益	▲ 685	-	-	-
	親会社株主に帰属する 当期純利益	1,017	1,500	482	47.4

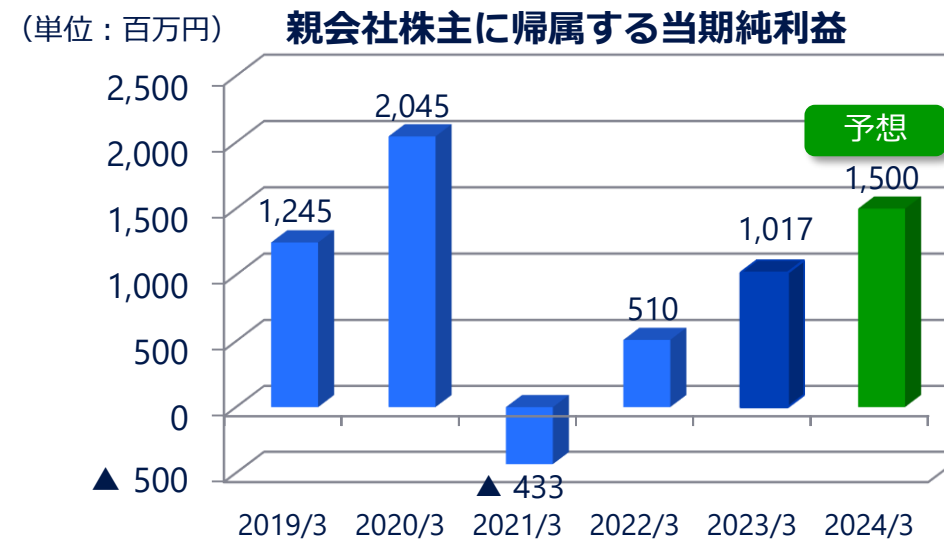
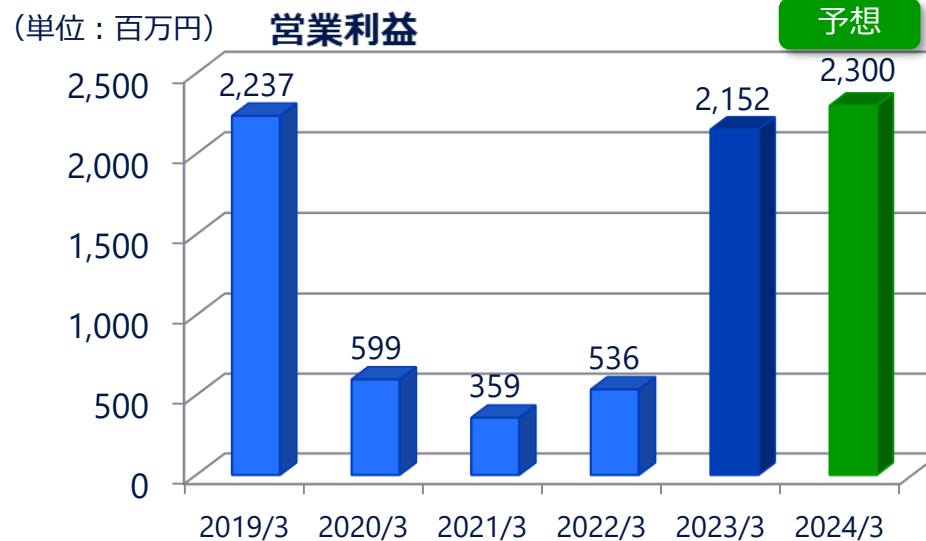
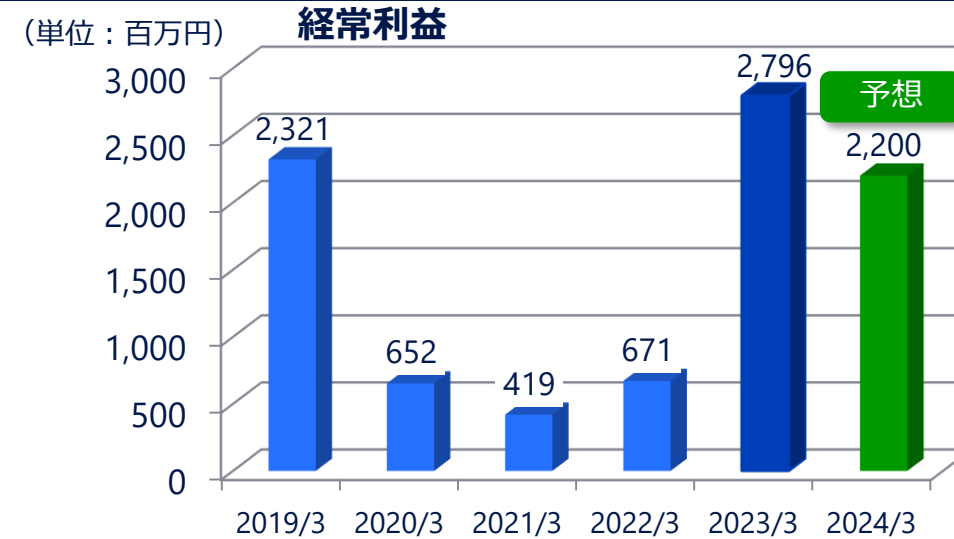
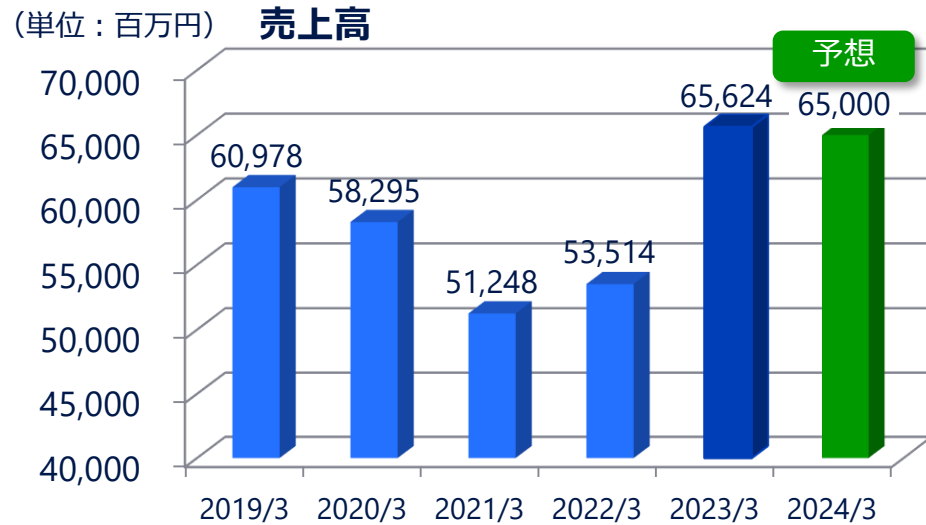
・「新たな成長軌道への挑戦」
成長市場である自動車分野と管路更生分野に引き続き経営資源を集中します。

・「体質改善の実行」
高い規律と倫理観を持った企業グループへの変革を進めます。

・自動車安全部品事業では、豊田合成株式会社との業務提携を深化させ、商品競争力の向上、不具合品の撲滅（ゼロディフェクト）と品質の向上をはかります。

・機能製品事業では、「総合インフラ防災メーカー」の地位確立に引き続き取り組みます。

・1株当たり75円配当を予定しております。



自動車安全部品事業本部 主要製品のご紹介

シートベルト



1967年にシートベルトメーカーとして初めてJIS規格の認証を受けて以来培ってきた技術が詰め込まれており、「モーター巻取り式リトラクター」をはじめ、「次世代シートベルト」への挑戦にも積極的に取り組んでいます。

エアバッグ



1986年にエアバッグの開発に着手し、1989年に量産を開始。座席サイド部分に内蔵される「サイドエアバッグ」や「カーテンエアバッグ」等、正面衝突以外の衝撃を緩和するための多種多様なエアバッグを製造しています。

手動シェード



ドアトリム内にビルトインされた巻き取り式ドアシェードです。使用時以外はドアトリム内に巻き取るため視界を遮ることがなく、また上端まで閉めればプライバシーを守ることができます。

セパレーションネット



乗員スペースとラゲージルームを仕切るネットで、急制動時に乗員スペースへの荷物の進入、荷くずれを防止し、乗員を守ります。

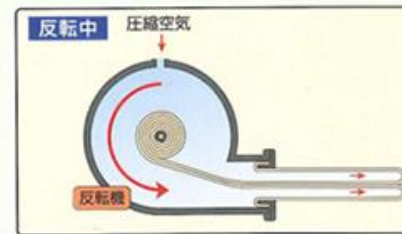
機能製品事業本部 主要製品のご紹介

パルテム・フローリング工法



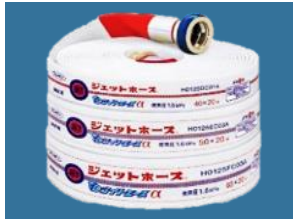
住宅リビングの床をイメージできるフローリング工法は、円形のみならずあらゆる断面形に対応できる、主に下水道向け管路更生工法です。

ホースライニング工法



既設管の内面にシールホースを「反転」挿入し、新しくパイプを形成するパルテムの原点となる工法です。

消防用ホース 低圧力損失ホース



放水時の圧力損失を従来品と比較して最大約50%低減し、より遠く、高く、早く放水でき、低燃費で操作できるため環境への負担も軽減できるホースです。

緊急排水ホース「パルジェット」



水害や災害の現場で排水ポンプ車がすぐに使用できるように軽量化した緊急排水対策用ホースです。

リフトアップ式搬送システム「エアーロールシステム」



円滑なトラック貨物の移動により荷役作業を省力化させるシステムで、女性や高齢者でも容易に扱え、作業負担を軽減します。

水上太陽光発電設備接続資材



水上太陽光発電設備を接続固定するベルト類を提供し、クリーンエネルギーを支えます。

芦森工業株式会社 社是

1. 信用を重んじ、堅実を旨とする。
2. 人の和と開かれた心で活力ある企業を築く。
3. 創意を生かし、社業を通じて社会に貢献する。

Mission・Vision・Values

【ミッション】

“私たちの使命は、命と暮らしを守る製品を提供することです”

【ビジョン】

“私たちは、すべての人々に信頼される企業グループであり続けます”

【バリュー】

“私たちは、誠実に、ルールを守り、品質最優先のものづくりに取り組みます”

本資料中の業績予想および見込みについての記述は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。

IRに関するお問い合わせ先

芦森工業株式会社 総務部 広報・IR課

TEL : 06-6105-1680

MAIL : ir_madoguchi@ashimori.co.jp

HP : <https://www.ashimori.co.jp>

ちから
つむぐ 技術、つなげる 未来

